

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市勝北文化センター
(2) 指定管理者	所在地 岡山県津山市上村335番地の8 名称 有限会社アライス 代表者 代表取締役 富田 安彦
(3) 公の施設の所管部署	津山市産業文化部文化課
(4) 指定期間	令和 3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
(5) 評価対象期間	令和 3年4月1日 ～ 令和4年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	7,530 人 (前年度4,164人)
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理業務及び自主文化事業等 (自主文化事業の内容) 風神太鼓、元気ッズひろば (太鼓)、ダンススクール ・年間稼働率 40.2% (前年度43.97%)

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	17,742千円 (前年度16,283千円)
	指定管理料	16,480千円
	利用料金収入	1,094千円
	自主事業収入	107千円
	その他の収入	61千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	17,945千円 (前年度17,513千円)
	主な支出	人件費 7,198千円
		光熱水費 3,411千円
		消耗品費 884千円
		委託料 (施設管理) 3,165千円
		事業費 (自主事業等) 1,324千円
		租税公課 646千円
		その他 1,317千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホールの空調 (暖房) が起動していても寒いとの苦情が例年多く寄せられており、老朽化も要因の一つではあるが、部品交換が必要な個所については随時対応している。 ・駐車場が暗く、電灯は2灯用5基が設置されているが、1灯2基のみ点灯可能であり、他基については修繕または老朽化による交換の時期がきていると思われる。 ・トイレの故障が多く、連続使用時に詰まりが発生する。
(2) 指定管理者の自己評価	<p>今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止による「緊急事態宣言」が岡山県に発令されたことで5/16～6/20及び、「まん延防止等重点措置」の発令で8/20～9/30まで臨時休館となった。</p> <p>コロナ禍が少し緩和された令和3年10月～令和4年1月に利用が集中し集客も増加したものの相次ぐキャンセル件数が増え稼働率は</p>

	<p>低下した。 キャンセル件数：56件 内、5件は振替にて開催</p> <p>《自主事業イベント》 地域住民の方々が例年楽しみにして頂いていたチャリティーイベントは、令和2年度同様コロナ感染拡大防止により開催することはできなかったが、次年度は皆様のご理解、ご協力をいただき予防対策を徹底して開催したい。 また、事業計画で予定をしていた他のイベントについても全て開催を見送ったため、令和4年度開催予定で検討している。</p> <p>《コロナ対策》 令和2年度に掲げた12項目の対策は継続しつつ、催事終了後は殺菌作業を強化した。</p> <p>現在もコロナ禍ではあるが、状況を見つつ空き施設の発生を最低限におさえるよう、また自主団体イベント催事の強化及び、近隣の方々が少人数でも気軽に利用して頂ける催事の呼び掛けを行っていく。 また利用者の利便性を強化する一環として、ホームページの環境整備構築などを行いサービス向上に努める。</p>
(3) 市の評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセル件数が増加し、自主事業も中止となった中、感染症対策を徹底し、安心して利用できる環境作りを行うことで、一定の利用者数を確保できていると考えられる。</p> <p>今後は自主事業の再開に加え、さらなる地域の利用促進に向けた新たな取り組みを期待する。</p>